

ATTACHMENT MCI-3010

取り扱い説明書

(VER H11 S0115)

作成2004/01/08
改定2004/02/09
改定2004/03/25
改定2004/04/01
改定2004/04/06
改定2004/04/12
改定2004/04/13
改定2004/06/10
改定2004/06/14
改定2005/11/30
改定2006/06/06
改定2006/12/04
改定2012/06/27

— 目次 —

1. 適用	P. 2
2. 概要	P. 2
3. フロントパネル	P. 3
4. リアパネル	P. 11
5. コネクターピッチサイン	
5-1. REMOTE コネクター	P. 14
5-2-1. VTR コネクター(HDW-2000, HDW-A2100)	P. 16
5-2-2. VTR コネクター(SRW-5500, SRW-5000)	P. 18
5-3. PANEL コネクター	P. 20
5-4. TALLY IN コネクター	P. 21
5-5. TALLY OUT コネクター	P. 21
6. MENU	
6-1. MENU 設定について	
①バージョン情報及びスタンバイ OFF TIMER 設定	P. 22
②ERROR LOG 設定	P. 22
③COMMAND LOG 設定	P. 24
④PQ-REC 設定	P. 27
⑤PQ-PB 設定	P. 28
⑥BEEP 設定	P. 29
⑦ON AIR 設定	P. 29
⑧REMOTE 設定	P. 30
⑨SYSTEM 設定	P. 30
6-2. MENU の初期化について	P. 32
6-3. ERROR 表示について	P. 32
7. その他の機能	P. 32
8. PQフォーマット	
8-1. ストップコード記録フォーマット	P. 33
8-2. 確認用キュー記録フォーマット	P. 34
8-3. β カム用 PQ 検出フォーマット	P. 34
9. 一般仕様	P. 35
10. 概要ブロック	P. 36
11. 接続参考図	P. 37

1. 適用

本装置は武蔵製 ATTACHMENT(MCI-3010)について規定します。

尚、本仕様書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：SONY 製 VTR (HDW-A2100, HDW-2000, HDW-M2000, HDW-S2000, SRW-5000*, SRW-5500*, HDW-1800**)

* SRW-5000, SRW-5500 は VER H11 S0112 からの対応になります。

** HDW-1800 は将来対応する予定です。

2. 概要

MCI-3010 の主な機能は下記の通りです。

<CUE CONTROL 機能>

- ・ ストップコードの検出機能を装備しています。
- ・ ストップコードの記録／消去機能を装備しています。

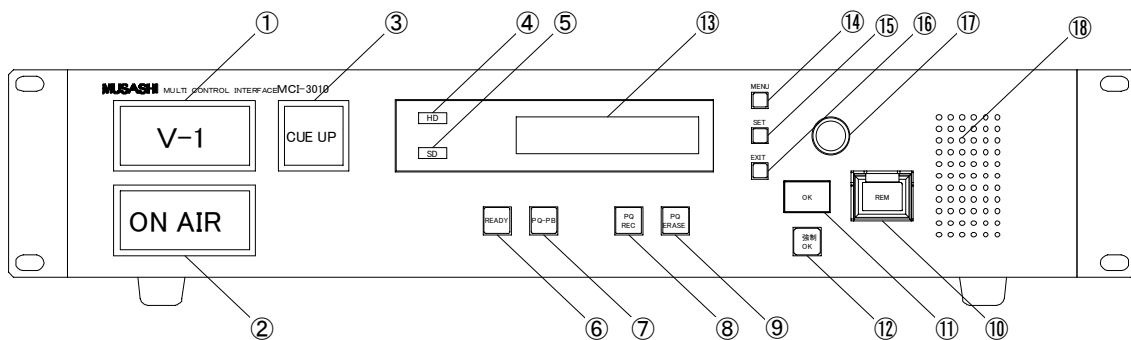
<OA TALLY 機能>

- ・ REMOTE コネクターとは別に OA TALLY 入力として TALLY IN コネクターを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクターを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

<その他の機能>

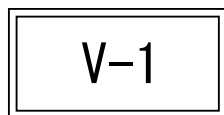
- ・ リファレンスは3値 SYNC 1125/59.94Hz、525 i /59.94 B.B に対応しています。
(選択は、リアパネルのスイッチにて切換可能)

3. フロントパネル



MCI-3010 の機能を使用する時は VTR 本体の REMOTE-1(9P)スイッチ、REMOTE-2(50P)スイッチを ON (点灯) に設定して下さい。*VTR の不揮発性 RAM に所定の設定が必要になります。

3-1. 号機表示灯 (上記外観図 ①)



スクリーン色 : 白色

LED 色 : 赤色 / 緑色 (同時点灯でアンバー色)

- (a) MCI-3010 の電源投入時、表示灯はアンバー色で点灯します。
- (b) リファレンス信号がない時及び、VTR がローカル状態の時アンバー色と消灯を交互に繰り返します。* 1 (メニューにより警告音の ON/OFF が可能です)
- (c) アラーム状態になると、赤色と緑色を交互に繰り返します。

9PIN プロトコルにて HARD ERROR を検出した場合、号機表示灯を赤緑交互点灯させアラームを出すと共に警告音を出します。

READY スイッチを押すことにより警告音を消すことができます。

アラーム表示は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

* 1 VTR の不揮発性 RAM に所定の設定を実施する必要があります。

3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図 ②)



スクリーン色 : 赤色

LED 色 : 赤色

- (a) MCI-3010 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) REMOTE コネクター又は、OA TALLY コネクターに OA TALLY-C を受けている間、表示灯は赤色で点灯します。

3-3. CUE UP 表示灯 (上記外観図 ③)



スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) PQ-PB 機能で STOP CODE 又は CUE TONE を検出すると、VTR は停止し、CUE UP 表示灯は緑色に点灯します。このことは STOP CODE 又は CUE TONE 検出によりストップしたことを表します。* 2
但し、PQ-PB 機能が検知禁止状態の時は除きます。

* 2 停止位置から ± 10 フレーム以内では点灯状態です。

(ジョグにてコマ送り等した場合、VTR の CTL が正常に読めない為、± 10 フレームを超えても消灯しない場合があります。)

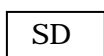
3-4. TAPE FORMAT (上記外観図 ④,⑤)



スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) INJECT されたカセットのテープフォーマットが HD フォーマットの時に点灯します。
動作する為には、HDW-A2100、HDW-2000、SRW-5500、SRW-5000 の VTR REMOTE(9P)の設定が有効になっていなければなりません。
- (b) HDW-A2100、HDW-2000、SRW-5500、SRW-5000 以外の機種には対応していません。
- (c) STOP CODE による検出 STOP が可能になります。
- (d) STOP CODE による検出音(BEEP)を出すことができます。



スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : 緑色

- (a) INJECT されたカセットのテープフォーマットが SD フォーマットの時に点灯します。
動作する為には、HDW-A2100 の VTR REMOTE(9P)の設定が有効になっていなければなりません。
- (b) HDW-A2100 以外の機種には対応していません。
- (c) CUE TONE による検出 STOP が可能になります。
- (d) CUE TONE による検出音(BEEP)を出すことができます。

※デフォルトは HD、SD ともに消灯

3-5. READY スイッチ（上記外観図 ⑥）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) READY スイッチと同時に押すことで各 PQ スイッチ及び MENU スイッチの機能が有効になります。

3-6. PQ-PB スイッチ（上記外観図 ⑦）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) READY スイッチと PQ-PB スイッチを同時に押すと VTR は PLAY 状態になり、STOP CODE を検知すると VTR はストップします。
この時、CUE UP 表示灯が点灯します。
- (b) この一連の動作中、PQ-PB スイッチが点灯します。
- (c) REMOTE コネクターに PQ-PB コマンドを受けた時も上記動作となり、PQ-PB スイッチは点灯します。

3-7. PQ-REC スイッチ（上記外観図 ⑧）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) テープが停止状態で READY スイッチと PQ-REC スイッチを同時に押すと VTR は PQ-REC シーケンスを実行し、STOP CODE 及びガイド用の 400Hz CUE TONE を記録します。
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。
- (c) HDW-2000、SRW-5500、SRW-5000 以外の機種には対応していません。
※CUE UP 中は 2 重書き禁止の為、PQ-REC 動作に入りません。

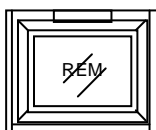
3-8. PQ-ERASE スイッチ（上記外観図 ⑨ ）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) テープが PQ 検出停止状態で READY スイッチと PQ-ERASE スイッチを同時に押すと VTR は PQ-ERASE シーケンスを実行し、STOP CODE 及び 400Hz CUE TONE を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。
- (c) HDW-2000、SRW-5500、SRW-5000 以外の機種には対応していません。

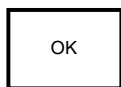
3-9. REM スイッチ（上記外観図 ⑩ ）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) MCI-3010 の電源投入時、REM スイッチは消灯しています。
- (b) REM スイッチにより上位からのパラレル制御を受け付けるか否かを選択出来ます。
- (c) REM スイッチが押下されると REM スイッチが点灯してもう一度押すと消灯します。
- (d) REM スイッチが点灯しているときのみ上位系からの REMOTE 制御を受付けてアンサーも返します。
- (e) REM スイッチが点灯している時は、フロントパネルからの PQ-PB、PQ-REC、PQ-ERASE 操作は禁止されます。

3-10. OK ランプ（上記外観図 ⑪）



スクリーン色 : 緑色

LED 色 : アンバー色

- (a) OK ランプは PQ-PB 完了（PQ-STOP 状態）で、アタッチメントが「REM」状態（上位との REMOTE が可能な状態）かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態のとき点灯します。
- (b) OK ランプ点灯後、アタッチメントの「REM」状態を外した場合、アラームが鳴りランプが点滅になります。
- (c) 上記でアタッチメントが「REM」状態に復帰した場合、点灯状態に戻ります。（アラームも止まる）
- (d) OK ランプの解除条件は、PQ-STOP 状態で無くなったときに消灯します。

3-11. 強制 OK スイッチ（上記外観図 ⑫）



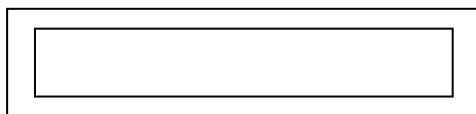
接点動作 : モーメンタリ-

スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) 正常な送出停止位置（PQ-STOP 位置）で無い場合に操作者の判断で送出位置であると判断した場合「強制 OK」スイッチを押下することで上記の「OK」ランプが点灯状態となります。（CUE UP したことと同等扱いになる）
- (b) 強制 OK 受付条件は、テープが装填されていてかつアタッチメントが「REM」状態で（上位との REMOTE が可能な状態）かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態で（COM ERROR などない状態）かつテープが走行していない（停止している）状態の時に、READY スイッチと強制 OK スイッチを同時に押すと強制 OK 状態となり「OK」ランプが点灯します。
- (c) 解除条件は、PQ 信号検出状態から解除になる場合と同量のテープの移動があったとき「OK」ランプが消灯します。

3-12. LCD 表示器（上記外観図 ⑬）



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) READY スイッチと MENU スイッチを同時に押すことにより MENU モードに移行します。
- (a) 通常はステータス表示器として機能します。
- (b) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容*がサイクリック表示されます。（複数 ERROR が同時発生している場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます）

* エラー内容の詳細については、「6-3. ERROR 表示について」を参照して下さい。

3-13. MENU スイッチ（上記外観図 ⑭）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : アンバー色
LED 色 : アンバー色

- (a) READY スイッチと MENU スイッチを同時に押すと LCD 表示器にメニュー（設定項目）が表示され、MENU スイッチが点灯します。
- (b) MENU スイッチ点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチが消灯します。

3-14. SETスイッチ（上記外観図 ⑮）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : アンバー色
LED色 : アンバー色

- (a) SETスイッチを押すとLCD表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SETスイッチは押した瞬間のみSETスイッチが点灯します。

3-15. EXITスイッチ（上記外観図 ⑯）



接点動作 : モーメンタリー
スクリーン色 : アンバー色
LED色 : アンバー色

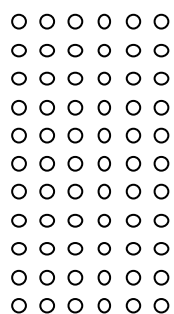
- (a) EXITスイッチを押すとLCD表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXITスイッチは押した瞬間のみEXITスイッチが点灯します。

3-16. メニュー設定用ツマミ（上記外観図 ⑰）



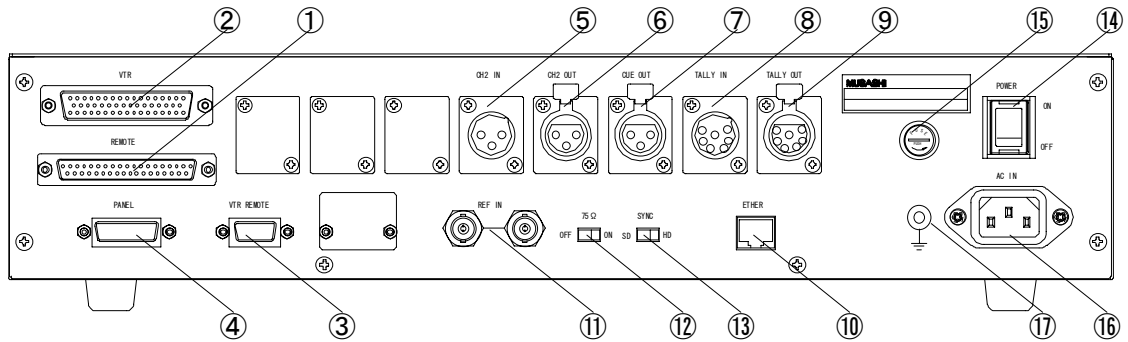
- (a) メニュー設定用ツマミを回すことにより、メニュー設定項目を変更することができます。
- (b) MENUボタン点灯中のみ機能します。

3-17. ブザー（上記外観図 ⑩）



- (a) テープフォーマットが HD の場合、PQ-PB 時 STOP CODE を検知すると検出音（BEEP）を出力します。
- (b) テープフォーマットが SD の場合、PQ-PB 時 CUE TONE を検知すると検出音（BEEP）を出力します。
- (c) MENU の設定によりブザー大、ブザー小、ブザーOFF が選べます。
- (d) PQ-PB、PQ-REC、PQ-ERASE 動作が正常終了しなかった場合、「ピピピッ」とアラーム音が出力されます。
- (e) PQ-PB 中 VTR の STOP 釦を押した場合の「ピピピッ」音を MENU 設定により ON/OFF できます。
- (f) アラーム音（VTR ハードエラー）、ERROR 音（メニューで ON/OFF 可能）を出力します。

4. リアパネル



4-1. REMOTE コネクター（上記外観図 ①）

- (a) 上位システムからのパラレル制御を接続します。
- (b) REMOTE コネクターからの制御は VTR がリモート状態の時のみ有効です。
(VTR がリモート状態とは、VTR の REMOTE ボタンの 9PIN(RS-422A)及び 50PIN(パラレル)がともに点灯時をさします。)
- (c) 詳細はコネクターピンプアサイン／REMOTE コネクターを御参照下さい。

4-2. VTR コネクター（上記外観図 ②）

- (a) VTR の PARA I/O コネクターと接続します。
(Dsub50P(M)コネクタと Dsub50P(M)コネクタの 1 対 1 ケーブルを使用します。)

4-3. VTR REMOTE コネクター（上記外観図 ③）

- (a) コントロールする VTR の REMOTE-1 IN(9P)コネクターと接続します。
- (b) パラレル制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。

4-4. PANEL コネクター（上記外観図 ④）

- (a) 外部 PANEL 用コネクターです。
- (b) PANEL コネクターには PQ-PB-C, PQ-REC-C, PQ-ERASE-C, PQ-PB-S, OA TALLY-S, PQ-REC-S, PQ-ERASE-S が装備されています。
- (c) 詳細はコネクターピンプアサイン／PANEL コネクターを御参照下さい。

4-5. CH-2 IN コネクター（上記外観図 ⑤）

- (a) VTR の A CH-2 OUT コネクターと接続します。
(HDW-A2100 のみ使用します。)

- 4-6. CH-2 OUT コネクター（上記外観図 ⑥ ）
- (a) CH-2 IN コネクターに接続された VTR の A CH-2 OUT コネクターからの音声信号を出力します。（HDW-A2100 のみ使用します。）
- 4-7. CUE OUT コネクター（上記外観図 ⑦ ）
- (a) VTR の CUEトラックへが 1 用 の CUE TONE を記録する時、VTR の CUE IN コネクターと接続します。（HDW-2000、SRW-5500 のみ使用します）
- 4-8. TALLY IN コネクター（上記外観図 ⑧ ）
- (a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。
 - (b) 詳細はコネクターピンプアサイン/TALLY IN コネクターを御参照下さい。
- 4-9. TALLY OUT コネクター（上記外観図 ⑨ ）
- (a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。
 - (b) 詳細はコネクターピンプアサイン/TALLY OUT コネクターを御参照下さい。
- 4-10. Ether コネクター（上記外観図 ⑩ ）
- (a) Ether NET（100BASE T）制御ポートです。
 - (b) ソフト Version Up などを使用します。
- 4-11. REF IN コネクター（上記外観図 ⑪ ）
- (a) 局内同期信号を入力します。
 - (b) スイッチ設定により 1125(3 値 SYNC)/525(B.B)の選択ができます。
 - (c) REF IN のスルー出力ができます。
(使用するときには、75Ω 終端 SW は OFF にします。)
- 4-12. 75Ω スイッチ（上記外観図 ⑫ ）
- (a) 75Ω スイッチにより 75Ω 終端の ON/OFF 設定ができます。
- 4-13. SYNC スイッチ（上記外観図 ⑬ ）
- (a) SYNC スイッチにより 1125(3 値 SYNC)/525(B.B)の切換ができます。
- 4-14. POWER スイッチ（上記外観図 ⑭ ）
- (a) 電源の ON/OFF するためのスイッチです。

4-15. FUSE 挿入（上記外観図 ⑮）

(a) 2A のヒューズを使います。

4-16. AC IN コネクタ（上記外観図 ⑯）

(a) 付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

4-17. アース端子（上記外観図 ⑰）

(a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5. コネクターピンサイン

5-1. REMOTE コネクター



※ VTR がリモート状態の時 (9PIN 及び 50PIN の REMOTE ホック点灯時) のみ有効です。

REMOTE コネクター

- ① REMOTE コネクターからのコマンド及びステータスの受け渡しは REMOTE スイッチ点灯時に有効です。
- ② REMOTE コネクターから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C,PQ-REC-C を受けると VTR のコントロール 1 側で設定したインサート、アングル状態を解除します。
- ③ PQ-PB-C の動作仕様は、フロント 1 側にある READY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の検知動作と同じです。
- ④ VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。VTR が走行中は、ストップになります。
- ⑤ OA TALLY-C を受けている間は下記の動作になります。
 - ・フロント 1 側にある ON AIR 表示が赤く点灯します。
 - ・OA TALLY-C を受けると VTR のコントロール 1 側が無効になります。*
 - ・OA TALLY-C を受けると PQ-PB 機能は無効となり、PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップしません。*
 - ・OA TALLY-C を受けると VTR は PLAY になります。*
- ⑥ PQ-REC-C の動作仕様は、フロント 1 側にある READY/PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
- ⑦ PQ-PB-S はフロント 1 側の READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REMOTE コネクターに PQ-PB-C を受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
- ⑧ VTR が、STOP 状態でかつドラムが回転している時に点灯します。*
- ⑨ REM OK-S は ATTACHMENT と VTR が通信状態(VTR の REMOTE STATUS 9PIN と 50PIN が点灯したとき)で、かつ VTR にテープが装填されている時 REMOTE 端子へメイク接点を出力します。
- ⑩ DET STOP-S は PQ-PB 機能により、PQ 信号を検知して VTR がストップしている間出力します。
- ⑪ PQ-REC-S はフロント 1 側の READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REMOTE コネクターに PQ-REC-C を受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
- ⑫ LOCAL DIS-S は VTR が LOCAL DISABLE になっている間出力します。
- ⑬ MENU 設定「70:REMOTE STATUS OUT」の REM/LOC&REM に関係なく、ERROR 状態の時は、常時出力します。又、REM スイッチが点灯中のみ出力する様に MENU 設定「77:ERROR-S SEL」にて可能です。

* MENU の設定によります。

5-2-1. VTR コネクター(HDW-2000, HDW-A2100)

MCI-3010 ※使用ピン欄は、MCI-3010 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。

Hddb-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	LETTERBOX MODE-C	71.00,F2,FC,01,00	#F.F	○
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	LETTERBOX MODE-S	03.00,F2,03,01,00	#CUE PRESET OUT	○
11	OUT	EDGE CROP-S	03.00,F2,03,00,00	#TC PRESET OUT	○
12	OUT			#OXIDE/METAL OUT	
13	OUT			#TAPE THICKNESS	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			
17		C-GND			○
18	IN	EDGE CROP-C	71.00,F2,FC,00,00	#PREROLL IN	○
19	IN			#ST-BY ON IN	
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71.00,55,FC,02,00	#ENTRY IN	○
22	IN	LOCAL DISABLE	71.00,55,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	○
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT	SP TAPE-S	02.02,2B,01,00,00	#ASSEMBLE PRESET OUT	○
27	OUT	REMOTE 50P	02.00,19,01,00,00	#EDIT OUT	○
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ANALOG/DEGITAL OUT	
30	OUT			#REEL HUB OUT	
31	OUT			REM2 SETTING DATA RESET OUT	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			○
34	IN			#PLAY IN	○
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	○
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROOOL OUT	

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例 (SONY HDW-A2100 のマニュアル参照)

- ① HDW-A2100 の電源を入れます。
- ② フロントパネル上の[HOME]を押しながら[MENU]を選択します。
ダイヤルつまみを回して「M3: OTHERS」を選び[SET]を押します。
OTHERS 階層に入ります。
- ③ 次に、ダイヤルつまみを回して「M39: 50PIN DATA ASSIGN」を選び
[SET]を押します。
- ④ ダイヤルつまみを回して「M390: INPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を
押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑤ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。
ダイヤルつまみを回して「M391: OUTPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を
押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑥ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

5-2-2. VTR コネクター(SRW-5500, SRW-5000)

MCI-3010 ※使用ピン欄は、MCI-3010 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。

Hddb-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	LETTERBOX MODE-C	71,00,73,FC,01,00	#F.F	○
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	LETTERBOX MODE-S	03,00,73,03,01,00	#CUE PRESET OUT	○
11	OUT	EDGE CROP-S	03,00,73,03,00,00	#TC PRESET OUT	○
12	OUT			#CASSETTE OUT/IN	
13	OUT			#TAPE HDCAM SR	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			
17		C-GND			○
18	IN	EDGE CROP-C	71,00,73,FC,00,00	#PREROLL IN	○
19	IN			#ST-BY ON IN	
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71,00,08,FC,02,00	#ENTRY IN	○
22	IN	LOCAL DISABLE	71,00,08,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	○
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT			#ASSEMBLE PRESET OUT	
27	OUT	REMOTE 50P	02,00,36,01,00,00	#EDIT OUT	○
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ETHERNET	
30	OUT			#REEL HUB OUT	
31	OUT			CURRENT SETUP DATA CHANGE	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			○
34	IN			#PLAY IN	○
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	○
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROOOL OUT	

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例 (SONY SRW-5500 及び SRW-5000 使用時)

- ① SRW-5500 (SRW-5000) の電源を入れます。
- ② フロントパネル上の[SFT]を押しながら[DIAG]を押します。
- ③ 次に、[SFT]を押しながら[F8] (MAINTE EXEC) を押します。
MAINTENANCE 階層に入ります。
- ④ 次に、[F9] (OTHERS CHECK) を押します。
- ⑤ 次に、[F6] (PARA-I SETUP) を押します。
- ⑦ 矢印キーで変更するピン No. のデータにあわせ、テンキーで数値を入れます。
- ⑧ 入力が終了したら、[F1] (NVRAM CTL) を押して、(SAVE ALL DATA) を選択して[F10] (EXET) を押す事により NVRAM に SAVE されます。
- ⑨ 再び[F10] (EXET) を押して上の階層に戻ります。
- ⑩ 同様に[F7] (PARA-O SETUP) 釦を押してステータス側の設定を行います。
- ⑪ 矢印キーで変更するピン No. のデータにあわせ、テンキーで数値を入れます。
- ⑫ 入力が終了したら、[F1] (NVRAM CTL) を押して、(SAVE ALL DATA) を選択して[F10] (EXET) を押す事により NVRAM に SAVE されます。
- ⑬ 再び[F10] (EXET) を 4 回押して MENU を抜けます。
- ⑭ 最後に VTR をリブート (電源 OFF/ON) する事により設定が反映されます。

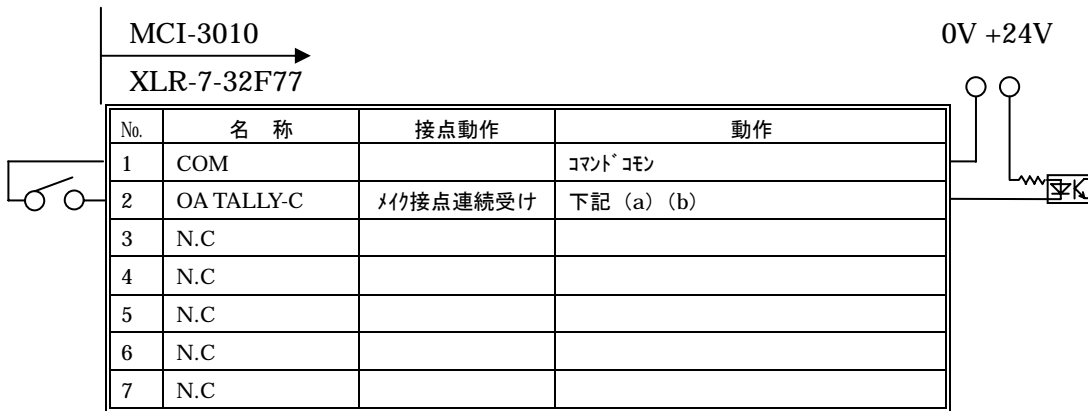
5-3. PANEL コネクター



PANEL コネクター

- (a) PANEL コネクターからのコマンド及びステータスの受け渡しはフロント 枠と同等です。
- (b) OA AIR LED OUT は REMOTE コネクター又は TALLY IN コネクターに OA TALLY-C を受けている間出力します。

5-4. TALLY IN コネクタ



TALLY IN コネクタ

- (a) OA TALLY-C は常時有効です。
- (b) OA TALLY-C の動作仕様は REMOTE コネクタの OA TALLY-C と同じです。

5-5. TALLY OUT コネクタ



TALLY OUT コネクタ

- (a) OA TALLY OUT は常時有効です。
- (b) OA TALLY OUT は REMOTE コネクタ又は、TALLY IN コネクタに OA TALLY-C を受けている間出力します。

6. MENU

6-1. MENU 設定について

①バージョン情報及びスタンバイ OFF TIMER 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
01:SYSTEM INFO	表示のみ	VER H11 S0115 S2 などバージョン情報を表示*	—
02:STBY OFF TIMER	DISABLE	ATMTからのタイマ設定及びRESETは行いません	
	RESET	ATMT から STBY-OFF タイマ RESET のみ行う	
	30sec	ATMT のタイマ設定により ST-BY OFF	
	60sec		
	03min		○
	05min		
	08min		
	15min		
30min			

* "VER H11 S0115 S2" 表示の意味について

"H11" : PLD のバージョン番号

"S0115" : ファームのバージョン番号

"S2" : 保守情報

②ERROR LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
10:ERROR LOG DISP	00~99	00~99 エラーログ表示	00
11:ERROR LOG SAVE	SAVE	エラーログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
12:ERROR LOG ERAS	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	エラーログの消去	

10:ERROR LOG DISP について

・本機で検知される外部エラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

"E1010:EXT REF ER"	本機へのリファレンス入力が途絶えた場合
"E1011:REF TYP ER"	本機へ SYNC スイッチ設定と違う REF が入力された場合
"E1020:VTR COM ER"	VTR との RS422 通信が途絶えた場合
"E1030:VTR H/W ER"	VTR から H/W ERROR のアンサーがあった場合
"E1040:VTR REF ER"	VTR から REF VD MISS のアンサーがあった場合
"E1050:VTR LOCAL "	VTR から LOCAL のアンサーがあった場合
"E1060:REM50P OFF"	VTR からの REM50P 信号が OFF になった場合

"E10F0:PQPB ????" PQ-PB が正常終了しなかった場合
"E10F1:PQREC ????" PQ-REC 正常終了しなかった場合
"E10F2:PQERA ????" PQ-ERASE が正常終了しなかった場合

???? は サービスマンコードです。

・ エラーログ表示例

"00:E1010:EXT REF ER" 最後に発生したエラー内容です。
"01:E1020:VTR COM ER" 最後の次に発生したエラー内容です。

先頭の 2 桁の数字は、ログ番号 "00~99" です。
ログ番号が"99"を超えた場合、古いエラーログ番号から消去され、
最新エラーログ番号が上書きされます。

・ 参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、
H/W 故障や致命的バグに関連するような不具合が発生した場合、
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

※ 例：起動時にメモリ異常が検知された場合等

LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT "

LCD 下段: "E0005: SRAM Err! "

※ 致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も
あり、システムエラーはログしていません。

11:ERROR LOG SAVE について

- ・ エラーログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3010 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE することによりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

12:ERROR LOG ERAS について

- (c) エラーログを消去したい時に ERASE します。

③COMMAND LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
20:COM LOG DISPLAY	000~999	000~999 コマンドログ表示	000
21:COM LOG SAVE	SAVE	コマンドログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
22:COM LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	コマンドログの消去	

20:COM LOG DISPLAY について

- ・ ログ表示例: REMOTE GPI の PQPB が操作された場合
"000:R:PQPB-C-0 < 0:15" PQPB が離された (最後のログ)
"001:R:PQPB-C-1 < 9:29" PQPB が押された (最後の次のログ)

先頭の 3 桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

先頭から 5 桁目のアルファベット "R","V","P" は GPI の入力ポートを表します。

"R" は REMOTE コネクターからのログを示します。

"V" は VTR コネクターからのログを示します。

"P" は EXT PANEL コネクターからのログを示します。

先頭から 7 桁目からのアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

・ REMOTE GPI 入力コマンドログ表示

"R:PQPB-C"

"R:PLAY-C"

"R:OATLY"

"R:STBY-C"

"R:REC-C"

"R:STOP-C"

"R:FF-C"

"R:REQ-C"

"R:PQREC-C"

"R:LETR-C"

"R:EDGE-C"

・ VTR GPI ステータス ログ 表示

"V:SP-TAPE"

"V:LETR-S"

"V:REM50P"

"V:EDGE-S"

"V:REM-OUT"

・ EXT PANEL GPI 入力 コマンドログ 表示

"P:READY"

"P:PQPB"

"P:PQREC"

"P:PQERA"

"P:ONAIR"

後ろに付いている C-0 又は C-1 はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

“C-1” は立ち下がりを示します。

“C-0” は立ち上がりを示します。

先頭から 17 桁目の一番後ろに記述してある “<0:15” は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。

例えば、“0:15” は前回の变化から 0 秒 15 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

21: COM LOG SAVE について

- ・コマンドログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3010 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

22: COM LOG ERASE について

- ・コマンドログを消去したい時に ERASE します。

④PQ-REC 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
30:PQ-REC TIME	01S00F~31S00F	PQ-REC 開始点の時間設定	04S00F
31:PQ-REC TRIM STPCD	00F~30F	STOP CODE 記録位置の微調整*	01F
32:PQ-REC TRIM CUETN	00F~30F	CUE TONE 記録位置の微調整	00F
33:PQ-REC EDIT TRIM	00F~30F	PQ-REC EDIT ON 開始点の微調整*	13F
34:PQ-REC PLAYBACK	DISABLE	PQ-REC (PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効	
	ENABLE	PQ-REC (PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効	○

* 31:PQ-REC TRIM STPCD について 補足

PQ-REC TRIM STPCD は VTR の STOP CODE 書き込み位置を微調整できます。

VTR が PRESET するまでのディレイ時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000,HDW-A2100) が PRESET するまでのディレイ時間が 1 フレームなので 01F に設定されています。

又、SRW-5000,SRW-5500 を使用する場合はディレイ時間が 2 フレームなので 02F と設定してください。

* 33:PQ-REC EDIT TRIM について 補足

PQ-REC EDIT TRIM は VTR の EDIT ON タイミングを微調整できます。

VTR が EDIT ON するまでのディレイ時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000,HDW-A2100) が EDIT ON するまでのディレイ時間が 8 フレームなので 5 フレームの余白を加算して 13F に設定されています。

※加算した 5 フレームは余裕を見るため。(U-BIT フリセットは 1 フレームディレイ)

このことは、8 フレーム前に EDIT ON コマンドを ATTACHMENT から投げることで VTR の EDIT ON タイミングと書き込み開始位置が一致することになりますが、安全を見て 13F をデフォルトとしています。

⑤PQ-PB 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
40:PQ-PB UP TIME STP	00S00F~30S00F	STOP CODE での PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	03S00F
41:PQ-PB UP TIME CUE	00S00F~30S00F	CUE TONE での PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	00S00F
42:PQ-PB TRIM STPCD	00F~30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整*	04F
43:PQ-PB TRIM CUETN	00F~30F	CUE TONE での VTR 停止位置の微調整	04F
44:PQ-PB STOP MODE	STOP	CUE UP 時 STOP で停止	○
	STILL	CUE UP 時 STILL で停止	

* 40:PQ-PB UP TIME STP について 補足

PQ-PB UP TIME STP は、**書き込み開始点を基準に**マックス方向の静止時間を設定します。PQ-REC TIME は必ず PQ-PB UP TIME STP より 1 秒以上マックス方向に設定して下さい。(STOP CODE が DETECT STOP 位置より手前に記録されている必要があります)

※PQ-REC TIME のデフォルト値は 04S00F になっています。

* 41:PQ-PB UP TIME CUE について 補足

PQ-PB UP TIME CUE は、**ON AIR 開始点を基準に**マックス方向の静止時間を設定しますがデフォルト値 00S00F にすることにより、ON AIR 開始点で停止します。400Hz CUE TONE は ON AIR 開始点の 4 秒前に必ず書込んで下さい。

※この設定項目は変更しないでください。

* 42:PQ-PB TRIM STPCD について 補足

PQ-PB TRIM STPCD は STOP CODE 検出後の VTR 停止位置 (コマンドタイミング) が微調整できます。

VTR が停止するまでのディレイ時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000,HDW-A2100) が停止コマンドを受信してから停止するまでのディレイ時間が 4 フレームなので 04F に設定されています。

又、SRW-5000,SRW-5500 を使用する場合はディレイ時間が 6 フレームなので 06F と設定してください。

※注意 : SRW-5000,SRW-5500 で HDCAM SR を再生した場合のディレイ時間は 6 フレームですが、HDCAM を再生した場合の停止ディレイ時間は 7 フレームになります。

⑥BEEP 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
50:DET-BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザーで鳴らす	○
	BEEP2	検出音を大ブザーで鳴らす	
51:DET-BEEP MODE	PQP	PQ-PB 動作時のみ検出音を鳴らす	
	ALL	常時検出音を鳴らす	○
52:DET-BEEP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中に検出音を OFF	○
	ENABLE	ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす	
53:ERROR-BEEP SW	DISABLE	ERROR 時 (号機灯プリンク時) ブザーを鳴らさない	○
	ENABLE	ERROR 時 (号機灯プリンク時) ブザーを鳴らす	
54:PQ-PB ERROR-BEEP	DISABLE	PQ-PB 異常終了時ブザーを鳴らさない	
	ENABLE	PQ-PB 異常終了時ブザーを鳴らす	○

⑦ON AIR 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
60:DET STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない	○
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止する	
61: PLAY/PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR タリ受付時コマンドを発行しない	○
	PLAY	ON-AIR タリ受付時 PLAY コマンドを発行	
	PQ-PB	ON-AIR タリ受付時 PQ-PB コマンドを発行	
62:REM PLAY-C ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける	○
63:REM PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける	○
64:REM STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない**	○
	ENABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける	
65:VTR INHI ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする*	○

* 65:VTR INHI ON-AIR について 補足

ON AIR 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。

HDW の設定 (50P の 22 ピンを LOCAL DISABLE→MAP **71,00,55,FC,03,00**)

SRW の設定 (50P の 22 ピンを LOCAL DISABLE→MAP **71,00,08,FC,03,00**)

* * 64:REM STOP ON-AIR について 補足

MENU 「64:REM STOP ON-AIR」が DISEBLE 設定時、ON AIR TALLY 中に上位 (運行装置及びスタジオ) から STOP コマンドを受けた場合、VTR へ STOP は送信されませんが、ST-BY ON 及び ST-BY OFF タイマリセットは送信します。

▲ MENU64 条件変更 (改訂 2012 / 06 / 27)

⑧REMOTE 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
70:REMOTE STATUS OUT	REM	VTRがREM時のみREMOTE STATUSを出力	○
	LOC&REM	VTRがLOC時にもREMOTE STATUSを出力	
71:REMOTE REC-C SEL	REC-C	REC-Cを受けるとRECする	
	REC-C&PLAY-C	REC-CとPLAY-Cを同時に受けるとRECする	○
72:REC-C TCG PRESET	DISABLE	REMOTE REC時TCG-PRESETしない	○
	09:59:30:00	REMOTE REC時09:59:30:00をPRESETする	
	09:59:45:00	REMOTE REC時09:59:45:00をPRESETする	
73:REM PLAY-C 50PIN	DISABLE	PLAYorPQPB時9PのみPLAYコマンドを発行	
	ENABLE	PLAYorPQPB時50PへPLAYコマンドを発行	○
74:REM STOP MODE SEL	STOP	STOP-Cを受けるとSTOPする	○
	STILL	STOP-Cを受けるとSTILLする	
75:REM STOP- S SEL	STOP&STBY	VTR停止中かつドラムが回転中STOP-Sを出力	○
	STOP	VTR停止中STOP-Sを出力	
76:VTR INHI REMOTE	DISABLE	REMOTE中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにしない	
	ENABLE	REMOTE中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにする*	○
77:ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へERROR-Sを通知する	○
	REM-SW	エラー状態でREM 釦点灯時上位へERROR-Sを通知する	

* 72:REC-C TCG PRESET について 補足

REC-C TCG PRESET は REC-C を受けると MENU で設定した値を TCG PRESET して REC RUN 動作をします。

TCG PRESET の COLOR FRAMING は OFF を設定します。

TCG PRESET の DF/NDF は DF モードを設定します。

* 76:VTR INHI REMOTE について 補足

REMOTE 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。

(50P の 22 ピンを LOCAL DISABLE→MAP **71,00,55,FC,03,00**)

⑨SYSTEM 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
F0:UNIT ID	000~255	機器番号を設定します*1	000
F1:IP ADDRESS	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP ADDRESS を設定します	192.168.001.250
F2:IP SUBNET MASK	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します	255.255.255.000
F3:MAC ADDRESS	表示のみ	Ether NET の MAC ADDRESS を表示します	機器に依ります
F4:MAINTENANCE	000~999	メンテナンスでの機器テスト等で使用します	000

F0:UNIT ID について

LAN 使用時は 001~255 の間で設定して下さい。

機器番号管理等で使用します。

F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “192.168.001.250” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “255.255.255.000” に設定されています。

サブネットマスクを設定して下さい。

F3: MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。

物理アドレスが表示されます。

F4: MAINTENANCE について

メンテナンスで使用します。

- ①設定 “110～119” で SET 釦を押すことにより、フロントパネルの LED 及びブザー音チェックが出来ます。
ランプ及びブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ②設定 “130” で SET 釦を押すことにより REMOTE スルーチェックモードに入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
REMOTE スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての TALLY LED がそのまま返り点灯します。
外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパラレル接点出力の動作確認をするのに便利です。
- ③設定 “140” で SET 釦を押すことにより REF チェックモードに入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
REF 入力があるとき CUE UP 灯が点灯します。
- ④設定 “141” で SET 釦を押すことにより CUE DETECT チェックモードに入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
CUE TONE 信号を発生します。
CUE TONE 信号を受けると CUE UP 灯が点灯します。
CUE TONE 信号のレベルを確認したり、CUE TONE 検知が正常に機能しているかチェックできます。
- ⑤設定 “210” で SET 釦を押すことによりファームリスタートモードに入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)
- ⑥設定 “290” で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR 疑似発生モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入して下さい。

6-2. MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に READY スイッチと SET スイッチを同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

※電源投入時、READY と SET 以外のスイッチは押さないように注意して下さい。

6-3. ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコードを表示します

ERROR 表

エラー表示	エラー内容	処置内容
E1010:EXT REF ER	本機への REF が入力されていない	A
E1011:REF TYP ER	本機へ SYNC スイッチ設定と違う REF 信号が入力されている	A
E1020:VTR COM ER	VTR との RS422 通信でエラーが発生しました	A
E1030:VTR H/W ER	VTR のハードウェア異常	B
E1040:VTR REF ER	VTR に REF が入力されていない	A
E1050:VTR LOCAL	VTR が LOCAL になっています	A
E1060:REM50P OFF	VTR の REM50P が OFF になっています	A
SYSTEM ERROR ~	自己診断テストで H/W 故障や致命的エラーが発生しました。	C

NOTE. A 設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては VTR の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

7. その他の機能

AUTO EDIT 自動解除機能について

- (a) REMOTE コネクターから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C, PQ-REC-C を受けると VTR のコントロールパネルで設定したインサート、アングル状態を解除します。
- (b) PANEL コネクターから PQ-PB-C ,PQ-REC-C を受けると VTR のコントロールパネルで設定したインサート、アングル状態を解除します。

8. PQフォーマット

8-1. ストップコード記録フォーマット

種類 : SMPTE のタイムコード、ドロップフレームモード (LTC のユーザーズビットを使用)
 記録トラック : タイムコードトラック
 記録位置 : 下記参照
 記録/再生レベル : 2.4Vp-p(10K Ω)/2.4Vp-p(H inp)
 停止位置 : ON AIR 開始点

ストップコード記録位置 (デフォルト時)



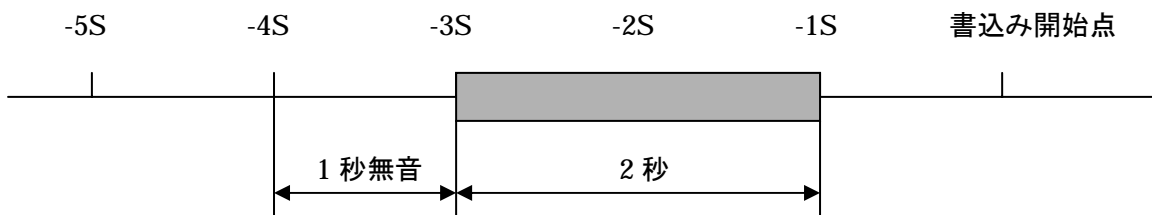
ユーザーズビットの STOP CODE 一覧表

TIME CODE	BG8-7 (チェックサム)	BG6-5 (データー通しNo)	BG4-3 (コードタイプ)	BG2-1 (スタートコード)
00	0xDA	0x13	0x13	0xFF
01	0xDB	0x12	0x13	0xFF
02	0xDC	0x11	0x13	0xFF
03	0xDD	0x10	0x13	0xFF
04	0xDE	0x0F	0x13	0xFF
05	0xDF	0x0E	0x13	0xFF
06	0xE0	0x0D	0x13	0xFF
07	0xE1	0x0C	0x13	0xFF
08	0xE2	0x0B	0x13	0xFF
09	0xE3	0x0A	0x13	0xFF
10	0xE4	0x09	0x13	0xFF
11	0xE5	0x08	0x13	0xFF
12	0xE6	0x07	0x13	0xFF
13	0xE7	0x06	0x13	0xFF
14	0xE8	0x05	0x13	0xFF
15	0xE9	0x04	0x13	0xFF
16	0xEA	0x03	0x13	0xFF
17	0xEB	0x02	0x13	0xFF
18	0xEC	0x01	0x13	0xFF
19	0xED	0x00	0x13	0xFF

8-2. 確認用キュー記録フォーマット

種類 : トップ キュー (400Hz)
記録トラック : キュートラック
記録位置 : 下記参照
記録レベル : +4dBm
停止位置 : ON AIR 開始点

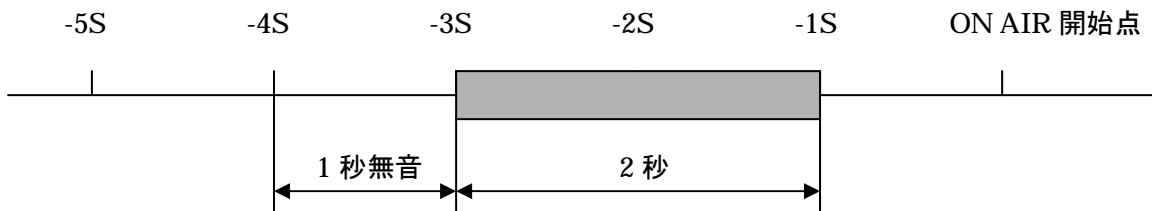
シングルキュートーン(400Hz)記録位置 (デフォルト時)



8-3. βカム用PQ検出フォーマット

種類 : トップ キュー (400Hz)
再生トラック : 7+0の音声 CH-2 トラック
検出位置 : 下記参照
再生レベル : +4dBm
停止位置 : ON AIR 開始点

シングルキュートーン(400Hz)記録位置 (固定値)



※PQ 検出条件は 1 秒以上の無音かつ 1 秒以上の 400Hz 期間が必要です。

9. 一般仕様

9-1. 一般

電源	: AC100V ±10%、50/60Hz
消費電力	: 50VA 以下
動作温度	: 5°C~40°C
使用湿度	: 20%~60%
外形寸法	: 482×88×400mm (幅/高さ/奥行き) (突起部を除く)
質量	: 約 6Kg

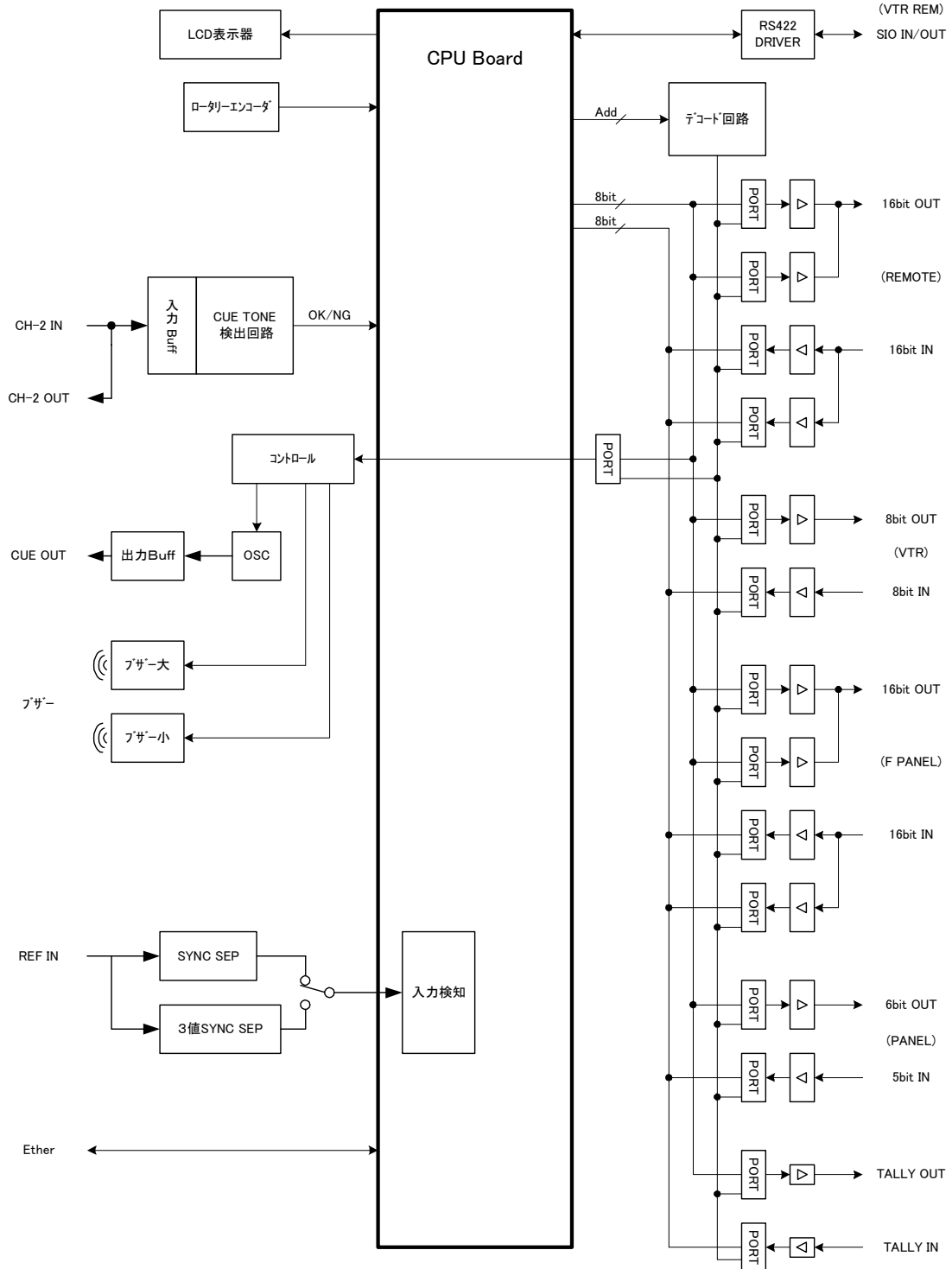
9-2. 入出力

REF IN	: 3 値 SYNC 0.6V(75Ω 終端時) 525i/59.94 B.B 0.45V(75Ω 終端時)
CH-2 IN	: +4dBm
CH-2 OUT	: +4dBm
CUE OUT	: +4dBm

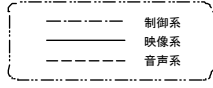
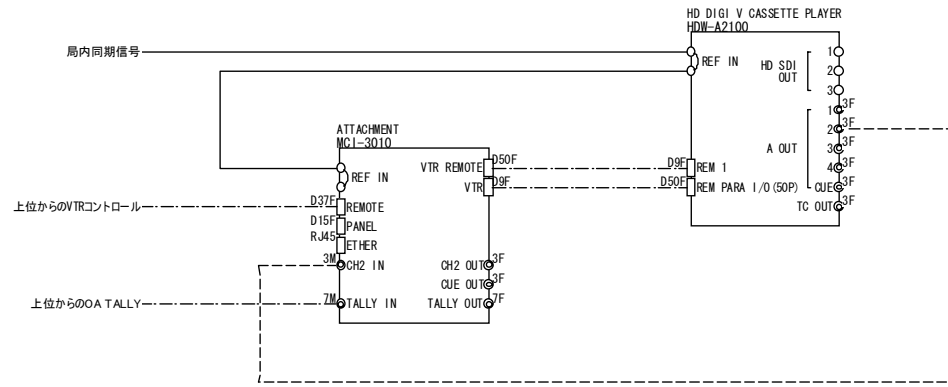
9-3. 付属品

	: VTR50PIN ケーブル (1.5m) × 1
	: D-SUB37 ピンコネクタ/ポート × 1
	: AC 電源コード × 1
	: AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み) × 1
	: 号機名称フィルム (V-1~V-9) × 1 セット
	: ラックイヤ × 1 セット
	: オペレーションマニュアル × 1

10. 概要ブロック



MUSASHI

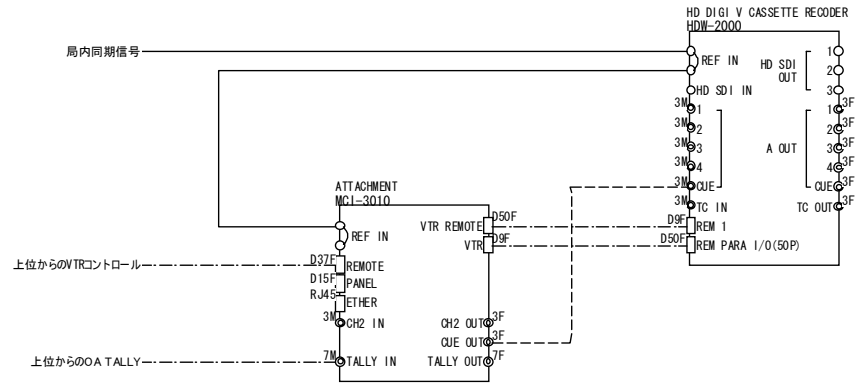


1 1. 接続参考図

A3図面枠

DRAWN BY	PLANNED BY	CHECKED BY	APPROVED BY	SCALE	日本放送協会 殿 向け ATTACHMENT MC1-3010 接続参考図

MUSASHI



DRAWN BY	PLANNED BY	CHECKED BY	APPROVED BY	SCALE

日本放送協会 殿 向け
ATTACHMENT MC1-3010 接続参考図(HDW-2000)